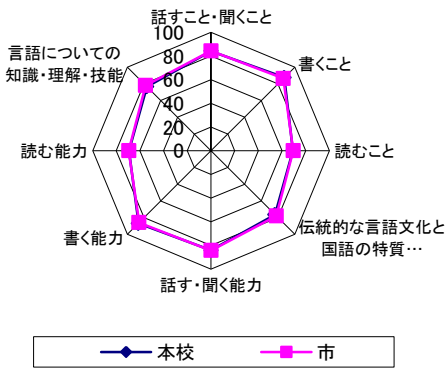


宇都宮市立鬼怒中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	84.2	84.3	81.2
	書くこと	87.5	86.4	74.0
	読むこと	69.3	69.5	64.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.3	77.9	70.6
観点別				
	話す・聞く能力	84.2	84.3	81.2
	書く能力	86.7	86.0	74.2
	読む能力	69.3	69.5	64.8
	言語についての知識・理解・技能	76.6	78.1	70.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（国語では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	・市平均正答率に比べて、0. 1ポイント下回った。 ○「話し合いの内容を聞き取る」という内容の問題であったが、①正確に聞き取る②話し方の工夫を聞き取る③司会者の工夫をききとることをねらいとした問題については、いずれも市の平均を上回った。 ●④司会者として適切な発言をすることができる(記述問題)については、市平均を0. 9ポイント下回った。	・聞き取る力については、十分に力がついているので、話すことの力をつけたい。そのために、自分の考えをまとめ、わかりやすく伝える練習をする必要がある。また、日常的に正しい言葉遣いをし、口語・文語ともに身に付けて行く必要がある。話し合い活動においては、司会者の発言の目安となる台本を用意し、適切な言葉遣いや話し合いのまとめ方が身に付くようにしたい。
書くこと	・市平均正答率に比べて、1. 1ポイント上回った。 ○作文の、①文字数を満たす②3段落構成で書く③自分の立場を明確にする⑤文章の内容に沿ったまとめをすることについては、市の平均を1ポイント以上上回っている。 ●④自分のとった立場の理由を書くことについては、0. 9ポイント下回った。	・具体例を根拠として文章を書く力をつけたい。根拠をあげて説得力を増した文章を書けるようにすること、自分の体験を根拠にあげられるようにすることが必要である。生活体験の少なさが現れる部分でもあるので、総合的な学習の時間などで体験したことを文章化したり、ダイアリーで日々の出来事をつづるなど、あらゆる機会を利用して生徒自身の体験談の蓄積をさせたい。
読むこと	・市平均を0. 2ポイント下回った。 ○文学作品の読み取りについては、市平均を3. 5ポイント上回った。 ●説明的文章については、市平均を3. 2ポイント下回った。	・毎日の朝読書の習慣が定着し、文学作品を、人物の心情に即して読む力がついている。一方、説明的文章については、文章の構成、展開を捉えて読むことが苦手である。主張、根拠、説明、まとめなどのそれぞれの段落の役割を意識して読むことを意識させたい。また、日頃の読書についても、読むジャンルが固定されてしまっているので、幅広い分野において読めるよう、「読書案内」などの単元を活用したい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・市平均を1. 6ポイント下回った。 ○故事成語、類義語・対義語については、市平均をやや上回った。 ●漢字の書き、助詞、敬語、古典については、市平均を大きく下回った。	・古典の基礎が身に付いていない。基本的な古文単語については、繰り返し練習し、定着を図りたい。また、歴史的仮名遣いの読み書きの問題も繰り返し解きたい。古典分野は、年間1度しか教科書で扱わないので、復習をしなければ次年度の内容が積み重なっていかない。定期的に復習問題を解く機会を設け、基礎基本を定着させたい。